

## 計画行政について

津山新星会議 近藤吉一郎



**質問**→計画行政に対する市長の考えは。  
**答弁**→現場の職員の企画や市民意見の反映に努めると共に策定後には計画内容を広く市民に周知し計画行政によるトラブル管理により政策の実現を図っていく。

**質問**→本年二月に天井の一部が崩落した阿波の温水プールの再開は。  
**答弁**→工事を実施し、安全確認後再開。

**質問**→武道館構想の今後のスタンスは。  
**答弁**→予望を重く受けとめ、中期・後期実施計画の中で検討したい。

**質問**→山城を活かしたまちづくりは。  
**答弁**→二千十年国民文化祭の津山市開催事業の中で中世山城の祭典を開催する。

**質問**→アルネ及び中心商店街で、この夏休みにも子ども向け企画を行うのか。  
**答弁**→昨年の水族館展に替わりアルネでアメリカの恐竜展を核に様々な子ども向けイベントを実施する。

## 津山市の活性化・下水道工事

新風会 庄司勝義

法と思う。市内に空き店舗が増加している。「まちの再生活性化のあり方委員会」学識経験者、道路管理者、交通事業者、市民からなる委員会を設置し市民の理解を求め、道路やJRの公共公益施設のあり方 市の負担について検討する。

**質問**→下水道工事について工事年度と小型合併の区域について町内会長に連絡。負担金は合併時以後の課題であった。  
**答弁**→長期の見通しは財政面で困難であり、次年度までの予定は通知している。負担金については現時点では一戸あたり三十万円の負担額でいきたい。  
そのため津山線のスピードアップも手答弁→集まりやすいシステム作成をする。



日本共産党津山市議団 末永弘之

**質問**→ごみ処理施設建設予定地の領家は、地元町内が久米連合町内会であり、周辺町内は共同申請することが義務づけられているが、鏡野町郷は、共同申請をしていないのではないか。  
答弁→誰が見ても、地元の町内会は領家であり、周辺町内の扱いは、地元町内の判断に任せると適地選定委員会で決めたものである。

## 「風力発電施設」市への効果は

新風会 森岡和雄



**質問**→風力発電の今後のスケジュール・関係法令の届出・市への効果は。  
**答弁**→企業は、事業の補助申請を資源エネルギー庁に行っており、十一月頃には結果がわかると聞いている。環境影響評価方法書の縦覧を行っており、各種届出の事前打ち合わせも進めている。

届出は企業が行い、発生する費用も、企業が負担する。平成二十一年四月に風車設置予定地内の道路工事が始まり、平成二十三年八月から本稼動の予定。市への効果は、①課題となっている五輪原の活用②観光資源としての活用③固定資産税・法人市民税及び道路占用料の発生。風力発電は、地球温暖化対策に寄与し、津山市環境基本計画や総合計画にも取り組みを掲げており、環境都市津山のイメージアップが図れるものと考えている。

◎ 議員はお中元やお歳暮も禁止されています。